

■■化学療法投与計画書《FOLFOX4療法》■■

実施日	
-----	--

患者番号	性別	身長	cm	
カナ氏名	生年月日	体重	kg	指示医
患者氏名	年齢	体表面積	m <sup>2</sup>	

Rp) レボホリナート(アイソボリン) 100 mg/m<sup>2</sup> day1,2  
 フルオロウラシル(5-FU) : bolus 400 mg/m<sup>2</sup> day1,2  
 フルオロウラシル(5-FU) : 持続 1200 mg/m<sup>2</sup> day1~2  
 オキサリプラチン(エルプラット) 85 mg/m<sup>2</sup> day1 2週毎

Day1	
中心静脈ポート 開始前ポートフラッシュ	
ヘパフラッシュ100単位/mLシリンジ	1 筒

レジメンコメント1
レジメンコメント2

ファモチジンD錠10mg2錠内服

本管①	15分
パロノセトロン点滴静注	1 袋
バッグ0.75mg 50mL	
デカドロン注射液1.65mg 0.5mL	4 管

**<実施時の注意>**  
 漏出時:直ちに投与を中止し、薬剤を吸引、洗浄し、ステロイドの局注、ステロイドの外用剤で対処する。オキサリプラチン投与時は寒冷刺激により末梢神経障害が誘発されるため患部の冷却は避ける。  
 ●オキサリプラチン  
 アルミニウムとの接触により分解するため調製時あるいは投与時にアルミニウムが用いられている機器(注射針等)は使用しないこと。  
 ●フルオロウラシル  
 TS-1投与中もしくは投与中止後7日以内→投与不可

本管②	120分
大塚糖液5% 250mL	1 袋
レボホリナートカルシウム	mg
アイソボリン点滴静注用100mg:	
アイソボリン点滴静注用25mg:	

側管①	120分
レボホリナート開始時120分かけて	
大塚糖液5% 250mL	1 袋
オキサリプラチン	mg
<腫>オキサリプラチン点滴静注液100mg「NK」:	
<腫>オキサリプラチン点滴静注液50mg「NK」:	

**<注意すべき副作用>**  
 ●過敏症 ●食欲不振、吐き気  
 ●口内炎 ●脱毛(頭髪、まつ毛、眉毛など)  
 ●手足のしびれ  
 ●白血球減少 ●赤血球減少(貧血)  
 ●血小板減少 ●肝機能低下

側管②	5分
レボホリナート終了時5分かけて	
【50mL】生理食塩液50mL	1 瓶
フルオロウラシル	mg
5-FU注1000mg:	
5-FU注250協和 250mg:	

本管③	46時間
全量105mL(適宜増減)に調製	
【mL】生理食塩液100mL	mL
フルオロウラシル	mg
5-FU注1000mg:	
5-FU注250協和 250mg:	

ポンプの流速は2.5mL/時間に設定  
 (必要時ポートフラッシュ)

Day2へ続く